



2021年2月23日 撮影場所：枚方穂谷川清掃工場向かいの北河内サイクルラインの歩道付近
(撮影 松村良男)



- ◆ 天国への階段（二） 危うく地獄へ
- ◆ 「人の命」と「健康」と
「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判
- ◆ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
3/3 『耳の日』に読みたいマンガ
- ◆ 秀作エッセイ 私の菜園日記 土をいじって十年余り
- ◆ 「コロナ禍～わたしの工夫 マスクの置き場所」
- ◆ 今月の五行歌
- ◆ 明るい自閉症講座（23）
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より／会計報告

「LIP編集局」

<https://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス：lip@love-dugong.net

TEL：070-5653-6913（18時以降）



「天国への階段」(二)

鶴島緋沙子

危うく地獄へ

おっとっと！

大阪は、本町に近い御堂筋の真っ只中、ホワイト族のメッカとでもいおうか。足早の男女が、行き交うその真ん中で、彼らに負けじと老体に鞭打ち、颯爽と足を速めた途端、あつと言う間に足を滑らし、へしやげた蛙よろしく全身を道路の石畳にぶつけてしまったのである。

普通ならそのみっともなさを憚って辺りを覗いながらのろろ立ち上がるのだろうが、それどころではない。足に力が入らない。

その私の目の前にめつと大きな手が差し出された。地獄に仏とは、このことか。涙目で見上げると、大柄でスーツ姿の若者の顔が、「大丈夫ですか」

と覗き込んでくれる。その手に縋ってようやく立ち上がる。

行き交う人々が振り返りながら通り過ぎて行く。舗道に叩きつけられた全身が、特に右脚に違和感と痛みが……。

「あ、有難うございます」

慌てて言う私を残して、前を向いたまま右手を挙げ、すたすたすたと去っていく若者。何とかつよい姿であることよ。

それが、大阪府高齢者大学の文芸を楽しむ学ぶ科の講師として八年目、今年の初授業の為、久々に大阪に出た一月七日の事だった。

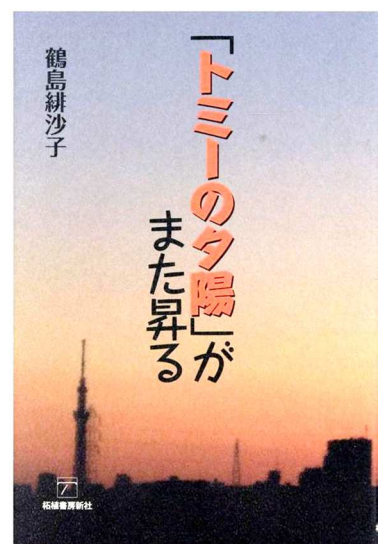
誰かの腕に縋りたい思いで、足を引き摺りながら見上げるばかりのビルの谷間を歩きながら私は考えた。こんなことで負けてはいられない。激しく打ったのが頭でなく足で良かった。『災い転じて福となす』と言うではないか。ひょっとしてこの先、何か好事があるかも知れない。などと思いながらどこまでも楽天家の私は、受講生たちの貴重な原稿が入った鞆を改めて握りしめたのであった。

「先生、お迎えに参りました」

その時、すっと横から手が出て鞆を取り、私の腕を支えてくれる、今度は若者ではない初老の男性。受講生の一人だ。

「わあ！良かった、助かった」

私のこれまでの人生、どれだけの人々の存在が、私を支えてくれているのだろう。感謝！



◆LIPで連載してきた鶴島緋沙子さんのエッセイ「もぐらの目」が2冊目の書籍になりました。

「トミーの夕陽」がまた昇る

鶴島 緋沙子【著】

柘植書房新社 (2021/01 発売)

価格 1,980

ぜひお読みください♪

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。著書『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～

原発賠償関西訴訟第 28 回期日の傍聴報告。

1月21日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第28回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東電に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。

今回の期日に際しては、緊急事態宣言が発出されていることにかんがみ、新型コロナウイルス感染防止のために報告集会の開催は取りやめ、また、期日外企画としてこれまで毎回行ってきた模擬法廷は Zoom 配信のみで行うことになりました。サポーターに対しては、スマホやパソコンなどで模擬法廷の配信を視聴してくださいと呼びかけがありました。

法廷では、原告から準備書面 75 及び 76「被告東京電力共通準備書面 (25) に対する反論」、準備書面 77「被告東京電力共通準備書面 (26) に対する反論」が提出され、被告・東京電力から共通準備書面 27「避難指示区域外における法益侵害について」、被告・国から準備書面 42「原告準備書面 68 に対する反論」が提出されました。原告準備書面 75 については、原告弁護団からパワーポイントによる内容説明がありました。準備書面 75 は、被告・東京電力共通準備書面 (25) において、低線量被ばくと健康影響に関する主張を被告・東京電力がしているのに対して、原告から反論を加えるものです。このうち、パワーポイントでは、初期被ばくの軽視、不相当な初期対応についての説明が行われました。

ちょうどこの日同時刻に、原発事故で群馬県内に避難した住民らが国と東電に損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決が東京高等裁判所(東京高裁)でありました。一審の前橋地方裁判所は国と東電に同等の責任を認めたのですが、東京高裁は国の責任は否定、東電だけに賠償を命じました。賠償額は 90 人に対する約 1 億 2 千万円で、62 人への約 4 千万円だった一審より上積みされました。

原発事故をめぐる避難者の集団訴訟は全国で約 30



最少人数に絞って、模擬法廷の zoom 配信を行った配信チームは、続いて、群馬訴訟@東京高裁判決の YouTube ライブ配信チームの関西スタジオとして機能。同じようにたたかう仲間たちに声援を送った。

件ありますが、そのなかで国と東電を被告とした訴訟で地裁判決の出たのは 14 件。そのうち国の責任まで認めたのは 7 件で、判断が分かれています。控訴審での高裁判決は昨年 9 月の仙台高裁に続いて、今回で 2 例目ですが、仙台高裁は国の責任を認めており、高裁レベルでも判断が分かれることになりました。*

東京高裁での判決の様子は高裁前から YouTube で配信され、関西訴訟の模擬法廷を Zoom で視聴したサポーターや、期日を終えた関西訴訟の原告団メンバーらも、YouTube でその様子を見守り、「原発被害が繰り返されないよう」「基本的人権を盾にして、尊厳を守るたたかいを、新たに一歩ずつ着実に進めていきましょう」とエールを送りました。

原発賠償関西訴訟の次回第 29 回期日は、大阪地方裁判所で 5 月 13 日(木) 午後 2 時開廷予定です。

(文：豊高明枝、写真：堀越善孝)

* 2 月 19 日、千葉県に避難した人たちが国と東電に損害賠償を求めた訴訟の控訴審で、東京高裁は国と東電双方の責任を認める判決を言い渡しました。国の責任に関する高裁判決としては、これで 3 例目です。

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

3/3 『耳の日』に読みたいマンガ

3月3日は、桃の節句！と言いたいところですが、今回は『耳の日』に因んで、聴覚障害に関するマンガを紹介します。耳の日には、難聴や言語障害を持つ人の悩みを解決したいという社会福祉への願いが込められています。障害を持った人への理解が少しでも進みますように！

◆ 遙かなる甲子園 ◆

原作:戸部良也 漫画:山本 おさむ 全10巻

戦後の沖縄県を舞台に、ろう学校に通う聴覚障害の少年たちが野球部を設立し、様々な困難に直面しながら甲子園出場を目指す青春野球漫画。障害者が世間で生きることの困難さや、沖縄に残る米軍基地など、今日も日本社会に残る差別や無関心の問題を訴える作品です。



米軍基地から持ち込まれた風疹の大流行で産まれた約500名の聴覚障害児たち。今では当たり前になった妊婦検診での風疹抗体検査も、こういった歴史を経て一般化していったんだなと感じます。期間限定でろう学校が建設されていたなんて、沖縄ならではの歴史を感じます。このマンガはマンガ文庫の利用者さんからの寄贈です。文献的にも貴重な作品ですので、是非多くの人に読んで欲しい作品です。

◆ 聲の形(こえのかたち) ◆ 大今良時 全7巻

ガキ大将の石田将也はいつもクラスを中心となって、暇を持て余しイタズラや危険な遊びをして毎日をごろごろしていた。ある日、西宮硝子という女の子がクラスに転校してくる。彼女は耳が聞こえなかった。好奇心を抱いた将也は硝子に面白半分に関わるようになりそれがきっかけとなり、クラス全体を巻き込むようないじめへと発展してしまう。結果、クラスに馴染めない硝子はまた転校することに。それから5年後、高校生になった将也は小学生の時伝えられなかった想いを伝えるため、硝子に会いに行く。



子どもの持つ残酷な一面や子どもたちの変化を知らず知らずのうちに見過ごしてしまう大人たち……。幼少期の記憶は大人になっても嫌だった思い出ほど鮮明ではないでしょうか？ 学校や身の回りの人が全ての狭い世界で、人間関係に悩む子どもは本当に逃げ場がないと感じます。

思春期の不安定で危うい少年が少しずつ自分の過ちや他人との距離のとり方を硝子を通して学んでいく物語です。5年の時を経て重なる2人の“こえ”。コミュニケーションに悩む人にも是非読んで欲しい作品です。

(みんなでつくる学童 STEMs そふえ)

[STEMz マンガ文庫で検索!]

私の菜園日記 土をいじって十年余り

澤田 泰夫

秋晴れに巣ごもりはないだろうと、家をあとにした。特にあてはないのだが、足は菜園に向かった。このところしばらく遠ざかっていたからである。道々、まだ残る田舎風情の中を、モクセイの香りにときどき歩調を緩めながら十五分ほど歩いた。

菜園の入り口には小さな花壇がある。タマズダレの白い花がまわりを囲み、一段上の中央部にはオレンジのマリーゴールドと背の高いコスモスが競うように咲く。ゆらゆらと風に揺れるさまは季節感を強く抱かせる。

日和に誘われてか、菜園は虫たちでにぎわっていた。バッタやかまきり、チョウにトンボ。それぞれが思い思いの動きをしているが、やがてくる寒い季節の準備に忙しいのだろう。チョウの仲間、は大小さまざま。アゲハチョウからタテハチョウ、モンシロチョウに小さなシジミチョウまで、そろって花の蜜を求めて飛び交う。

こちらの菜園の夏から秋へと模様替えをし、次の季節に向けて主役交代の作業が、遅れ気味だが進んでいる。

先月に種をまいたダイコンは、きみどりの葉っぱがどんどん伸びて元気いっぱい。花の蜜に満ち足りたモンシロチョウが、ひらひらとやってきて

葉っぱにとまり、羽をやすめる。産卵もまぢかなのだろうか。菜園が虫たちの楽園になればいい。

菜園を借り、野菜づくりを始めて十年あまりになる。季節も今ごろだった。素人の、何も知らないにわか農夫は最初、手にとってギュッと握った土に、何ともいえない親しみとなつかしさを感じた。いい香りがしてやわらかく、しっくりなじむその感触は、今も手のひらが覚えていて。飽きることなくいつまでもいじりつづけるその姿は、幼児の泥んこ遊びに見られたかもしれない。土をやわらかくして積み上げ、いくつも山をつくる。連なった山々は畝となり、上を平らにして種をまく単純素朴な作業に時を忘れた。

初めての種まきもダイコンだった。まいてから二、三日もするとつぎつぎ芽が出た。よろこんで見ていると

「間引きをしないといい作物はできないよ!」と、となりの畑から助言がくる。間引くことに抵抗があり放っておいた。欲張ってどのダイコンも大きくしたかった。

「青虫がついていたら駆除してね」と次の助言。さあどうしよう。

「大阪府高齢者大学」文章講座卒業生でつくる「鶴島学校」の澤田泰夫さんの作品です。講師をつとめる鶴島緋沙子さんの推奨作品。

コロナ禍～わたしの工夫 マスクの置き場所

(LIP編集部わたなべ)



生活必需品になったマスク。取り外した時に置き場所に困りませんか？ 飲食店などで外した時に困ったわたしの工夫です。
←こちらは 100 円ショップのケーブルを束ねる洗濯ばさみみたいなモノ（コードクリップという名前で売ってました）。



コードクリップ

何も道具がないときは、スマホカバーを使ったりします。↓



LIPが選ぶ

今月の五行歌

うつ伏せ

さなぎ

ときに

仰向け

路面に累々と

八重椿

一週間先の

ちえこ

未来があることを

疑いもせず

生協の

注文書を書く

呼びかけても

倭

よびかけても

答えない

夫(きみ)だけど

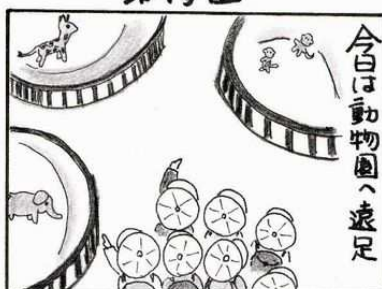
愛してる

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度メセナひらかた会館にて歌会を行っています。

(連絡先: akie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

動物園



今は動物園へ遠足



大きな動物はちと苦手

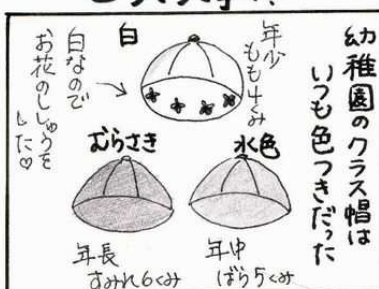


が、突然走り出し



ニコ

色って大事!!



幼稚園のクラス帽はいつも色つきだった



小学生になぞ一年生は



二年生



白にしたら

明るい自閉症講座 (23)

感染防止対策をしっかりとお待ちしています くらねこく

イベント・サークル・ボランティア情報

がいこくじんのためのきょういく そうだんかい

【外国人のための教育相談会】のお知らせ

- ◆相談内容：日本の学校制度、学校生活、進路、入試制度など教育について、 秘密厳守
- ◆日時：3月13日(土) 13:30~17:00
- ◆場所：マイドームおおさか 8階 第3会議室
- <https://www.mydome.jp/mydomeosaka/access/>
- ◆対象：外国にルーツをもつ子どもと家族
- ◆参加費：無料
- 通訳付き、(英語、中国語、ネパール語、ベトナム語) それ以外の言語は問い合わせてください。
- 対面、Zoom、電話で、大阪の教育事情に詳しいオコタツクのメンバーが相談に答えます。 電話・Zoom相談は要予約
- 問合せ・予約先：大阪府外国人情報コーナー
- 大阪府国際交流財団 (OFIX) 内
- 06-6941-2297 jouhou-c@ofix.or.jp

名著やベストセラーをテーマとする読書会

- ①：「WORK SHIFT」(著者：リンダ・グラットン) 読書会
- ◆日時：令和3年3月9日(火) 19:30-21:00
- ◆場所：オンラインソフト ZOOMにて開催
- ◆参加費：無料 ※定員6名
- ②：「FACTFULNESS」(2020年度ビジネス書大賞受賞) 読書会
- ◆日時：令和3年3月21日(日) 10:00-12:00
- ◆場所：枚方市駅前のカフェにて開催
- ◆参加費：無料 ※定員10名
- 主催者：NPO 法人スノック
- Email: snoknp@gmail.com
- URL: <https://snok.org>



※「テーマ本」を毎回設定いたしますので、事前に読んできて頂き、その本について参加者で意見交換していくという形式です。読書会が「新しい気づき」や「バックグラウンドの異なる人との出会い」の場になれば幸いです。ホームページか E-mail にてお申込みください。

◆◆「みんなといっしょに高校へ行きたい！」学習会案内◆◆

「障害」を持った生徒も、大阪府では、約3000人の生徒が府立の高校に通っています。学習会では、その体験をした保護者の方や、大阪府では、どのように「障害」のある生徒が共に学べるよう、受験や高校生活が行われているかを紹介してもらいます。一緒に、学びましょう！

- ◆時：2021年3月28日(日) 午後1時30分~5時
- ◆所：ラポールひらかた 4階 大研修室 先着50名
- 枚方市駅下車 北へ500メートル 駐車場は、障害者用のみ
- ZOOM参加も可能です。先着80名
- ZOOM参加希望の方は、松森俊尚のアドレスに3月26日までに申し込んでください。

アドレス：matumori@crux.ocn.ne.jp

◆内容：

- 1、お祝い：成人、卒業、合格おめでとう！
 - 2、講演：私が経験したこと、考えたこと
 - ①息子が工科高校生になって 奥村宣子さん
 - ②娘との歩み、学校生活と「NPO 法人たゆらぎ」を立ち上げて 井村よしみさん
 - 3、「障害」のある生徒の高校受験について 片岡次雄さん(高校問題を考える会)
 - 4、フリートーク：もっと質問したいこと、話したいこと
- 終了後、進路相談会をしますので、ご希望の方は、どうぞ！

◆参加協力費：会場の方も、ZOOM参加の方も、300円を資料代として頂きます。

ZOOM参加の方は、ゆうちょ銀行 00910-4-308258

「知的障害者を普通高校へ」北河内連絡会にお振り込みをお願いします。

振り込みが確認された後、「入室のURLと資料」を松森からお送りします。

◆問合せ：関山 090-2599-6162 松森 090-1960-3460

◆主催：知的障害者を普通高校へ北河内連絡会

共催：寝屋川市の義務教育における医療的ケアを考える会

後援：大阪府教育庁

【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆日時：3月22日(月) 10時半~

◆場所：ラポールひらかた

※連絡先 松崎 072-845-3014 春名 072-397-0053

【カウンセラー入門講座】～受講説明会&講座体験～

内容：心の支援についての基本的な取り組みを学べます。

日時：3月15日(月) 10:30~12:00

場所：ラポールひらかた

参加費：無料

定員：15名

申込・問合せ先：NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jimu@npo-ksc.net

<http://www.npo-ksc.net>

【居場所大学校御殿山分校】

◆日時：3月14日(日)13時から15時ころ迄。

◆会場：サカミティー／貸切部屋

枚方市御殿山町8-19

◆主催／連絡先

NPO法人エンパワセツルメント info@jp-hitori.net

◆参加費 無料

少人数制で静かにやってる居場所大学校の出張版です。大勢が苦手な人、コミュ苦手の人、ゆるりと来て下さい。現役ケアマネジャーその他による、なんでも相談同時開催、無料。

● 新型コロナウイルス感染防止のために、催しが中止・延期になる可能性があります。主催者にお問い合わせください。●



応援ありがとうございます♪

L I P 応援団

知的障害者を普通高校へ 北河内連絡会

L I P 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
21,001	前号から繰り越し
2,000	応援団寄付
▼420	郵送代
▼500	2月ロッカー代
▼3,480	2月号印刷代
18,601	計(次号へ繰り越し)

求人～正規職員・パート募集

■ 職種：生活支援員(パートは月に2回～応相談)

- ① 7:00～16:00 (休憩 60 分)
- ② 13:00～22:00 (休憩 60 分)
- ③ 夜勤 15:00～9:00 (休憩 240 分) シフト制

※詳細はホームページをご覧ください。

★ 京阪枚方公園駅徒歩 10 分 (枚方市上之町)

★ 問合せ ショートステイ みつきい

TEL 090-9167-7187 HP <https://tayuragi.com/>

ユイリアホームまきの 入居者募集中！

2020 年 7 月 1 日『障がい者用グループホーム』

枚方にオープンしました。

障がいのある子を持つ親の気持ちに寄り添いたい。

知的または精神的な障がいの**女性が対象**です。

○場所 枚方市養父西町 17-15

○TEL 072-807-3005 担当 平井まで

先ずは体験から始めてみませんか！



2020 年 12 月 1 日(障がい者用)グループホーム “ミライエ”新規開設！入所者募集中！

18 歳から 65 歳までの知的または精神的障がいをお持ちの女性を募集。

新築 6 年目の一戸建て。4 部屋あります。

● 場所：枚方市茄子作北町

● TEL：080-4945-8051 までご連絡を！

イラスト 表紙／裏表紙：平井由恵

■今月もなんとか発行することができました。コロナ禍でいろいろ不自由ですが、いろいろ工夫することでなんとか順応して行きたいと思ってます。ささやかなわたしの工夫を「コロナ禍～わたしの工夫 マスクの置き場所」という短文にしてみました。読者のみなさんから、コロナ禍でなにか工夫したり楽しみを見つけたりしたことがあれば、ぜひ投稿してください。(w)

■L I P も参加した【WEB】ひらかた NPO フェスタ 2020 の動画が公開されました(^^♪ ぜひご覧ください♪

<https://youtu.be/u1rBSQ-tv0s&t=6636s>



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索